

アジア英語

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	ウガ・プルチェカ	指定なし	火曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
This course is aimed at providing students with opportunity to develop their linguistic and cultural understanding. The spring course sets out to introduce land, people, and history of Indonesia. All handouts and background reading will be in English and report must also be written in English.

その他

教科書	Handouts and printed materials
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	Regular attendance is expected and required. Proper preparation is also expected and required.
授業時間以外の学習	
評価方法	The classes will be based on a combination of attendance, classroom performances and final report.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Geography
2講目	Fauna and Flora
3講目	People
4講目	Ethnic Groups
5講目	Languages
6講目	History
7講目	Ancient Times
8講目	Buddhist and Hindu Kingdoms
9講目	Islam Arrives
10講目	European Periode
11講目	Japanese Periode
12講目	Independence
13講目	Governement
14講目	Economy
15講目	Review

東南アジア基礎講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	柏村 彰夫	1年生 First Year	木曜日 3時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
東南アジアに関する基礎的知識の習得を目指す

その他

教科書	適宜コピーを配布する
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	日常点と期末レポート
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	東南アジアの範囲
2講目	各国、各地域の共通点、相違点
3講目	参考文献の紹介
4講目	東南アジアの歴史概説1
5講目	東南アジアの歴史概説2
6講目	東南アジアの経済概説1
7講目	東南アジアの経済概説2
8講目	タイの概説
9講目	ベトナムの概説
10講目	インドネシアの概説
11講目	ASEAN
12講目	日本との関係史1 近代以前
13講目	日本との関係史2 戦前期
14講目	日本との関係史3 戦間期、軍政期
15講目	日本との関係史4 戦後

アジア英語

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	鈴木 康央	指定なし	水曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
ベトナムについての英語の文献を読み、ベトナムについての知識を深める。

その他

教科書	プリントを配布する
参考文献	授業中に紹介する
学習内容 授業形態	演習形式
留意点	出席を重視する。予習にも取り組むこと。
授業時間以外の学習	英文講読について、和訳ができるところまであらかじめ準備しておくこと。
評価方法	履修態度ならびに期末レポートによる。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Introduction
2講目	Geography
3講目	People
4講目	Ethnolinguistic Group
5講目	Language
6講目	Early History
7講目	The Era of Chinese Domination
8講目	Indipendent Monarchies
9講目	Reunification under the Nguyen Dinasty
10講目	The French Conquest
11講目	The Rise of Nationalism
12講目	The First Indochina War
13講目	The Second Indochina War
14講目	The Socialist Republic
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

東南アジア時事英語

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	一宮 孝子	1年生 First Year	木曜日 4時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
タイについての英語の文献を読むことによって、タイについてより深く知る

その他

教科書	プリントを配布
参考文献	授業中に紹介する予定
学習内容 授業形態	毎回のテーマに沿った英語文献の購読[アクティブラーニング]
留意点	本校基準以上の出席はもちろん、下記の通り確実に取り組むこと。
授業時間以外の学習	毎回の購読文は、単語を調べ、自身で日本語訳ができるように準備して授業にのぞむこと。
評価方法	授業への取り組み50% レポート50%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概要と導入
2講目	geography
3講目	history
4講目	goverment
5講目	economy
6講目	people
7講目	culture
8講目	customs
9講目	etiquette
10講目	religion
11講目	transportation
12講目	art
13講目	food
14講目	nature
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

日本の文化

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	高橋 尚美	1年生 First Year	木曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
日本の季節感や行事や風習などを、感覚的だけでなく理論的に理解できるようになる。 日本の伝統の布である風呂敷について学び、使い方を実習し、日本の内外の人に教えることができるようになる。

その他

教科書	『評解 新小倉百人一首』 三木幸信・中川浩文(著) 京都書房 408円(税込)
参考文献	授業内で適宜紹介する。
学習内容 授業形態	「百人一首」の和歌の中に詠まれている季節感や行事や風習などの「文化」に着目して学び、現代生活に通じる日本の文化を理論的に理解する。また、日本の伝統の布である風呂敷について学び、実習授業を通して普段の生活にも役立てる方法を学ぶ。そうして、日本の内外の人に教えられるように練習する。
留意点	
授業時間以外の学習	京都にいれば、伝統的な行事や文物に触れる機会が多くある。可能な範囲で参加したり見学したり、或いは自分自身で実践したりして、日本の文化への興味を深めてほしい。
評価方法	出席状況、授業態度、授業中に出す課題、中間試験、学期末試験を、総合して評価する。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	イントロダクション
2講目	陰暦月名と季節
3講目	二十四節気
4講目	二十四節気
5講目	春の七草と秋の七草
6講目	十二支
7講目	中間試験
8講目	風呂敷の種類、文様、歴史
9講目	風呂敷でエコバッグを作ってみよう!
10講目	風呂敷で丸い物や四角いものを包んでみよう!
11講目	風呂敷で「喜び」と「悲しみ」を表現する方法を知ろう!
12講目	月の形と名称
13講目	芋名月と栗名月と豆名月
14講目	学期末試験
15講目	復習とまとめ

言語と社会

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	木田 章代	2年生 Second Year	月曜日 2時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の多様性(場面ごとの使われ方)を知る。 ・日常のコミュニケーションについて「言語」「非言語」の両面から理解できるようになる。 ・言葉は時代とともに変化することを知り、言葉の使われ方の正誤を論じるのではなく、使われた言葉のコンテキスト(文脈)が考えられるようになる。

その他

教科書	第一回目の授業で連絡します。
参考文献	『やさしい言語学』高橋留美・大塚みさ・杉本淳子・田中幹大著 研究社 『日本語教育教科書 日本語教育能力検定試験 完全攻略ガイド 第5版』ヒューマンアカデミー 翔泳社 『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』他、授業内で紹介する
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間) 授業内容に合わせて講義形式を取ったり、演習の形式を取ったりします。当てられたら間違ってもいいので答えてみてください。その発言が次の考察へのヒントになることもあるからです。 「言語学」と聞くと、難しいと感じる人は多いかもしれませんが、要は「私たちが毎日話している『ことば』」の勉強です。学問ですから難解そうに見える言語理論や聞いたことのない専門用語は出てきますが、内容は母語話者なら日常感じている「ことばに関する現象」です。それらに専門的な名前がつけられているだけです。名前を知らなくても私たちはそういった現象を日常生活の中で見聞き体験して知っているのです。医学や物理学等は知らないことを一から学んでいく学問ですが、言語学は既に知っていることを客観的に理論化していく作業です。「言語学」の理論が私たちの生活の中にいかに多く存在しているかわかれば、言語学はとても興味深い学問となるでしょう。実は、答えは私たちの頭の中にあるんですね。 教師という職業は、なる前の勉強もさることながら、なっってから常にも常に研鑽が必要とされるものです。これからの研鑽の土台を築くための道しるべとなるのがさまざまな言語学です。
留意点	1回目の授業から出席を取ります。スマートフォンは常に消音モードにして音が出ないようにすること。授業で必要な時以外は見ないこと。授業の内容、進度に関して、クラスのレベルやニーズに合わせて変更することがある。春秋通して受講することが望ましい。
授業時間以外の学習	授業以外の時にも自分や他人の言語行動を観察する姿勢を持ってほしい。
評価方法	出席、授業への参加態度、課題への取り組み、課題の提出率などにより、総合的に判断する。
実務経験と 科目の関連	日本語教師として必要となることを中心に扱い、実際の現場での事例も紹介する。主に社会言語学の研究や理論が日本語学習の教室でどのように実践されているのかも紹介する。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション 社会言語学の視点
2講目	属性と言葉 位相 世代語
3講目	属性と言葉 男ことばと女ことば
4講目	属性と言葉 若者語
5講目	属性と言葉 集団語 隠語 話し言葉と書き言葉
6講目	地域的位相(方言) 俚言 標準語と共通語
7講目	地域的位相(方言) 方言周圏論
8講目	地域的位相(方言) 地域方言概観(東北～関東、中部)
9講目	地域的位相(方言) 地域方言概観(関西～九州、沖縄)
10講目	地域的位相(方言) 大阪弁講座
11講目	言語とコミュニケーション コミュニケーションとコード 周辺言語
12講目	言語とコミュニケーション 異文化間コミュニケーションとギャップ ステレオタイプ
13講目	言語とコミュニケーション 高コンテキスト文化と低コンテキスト文化
14講目	言語とコミュニケーション 非言語コミュニケーション
15講目	春学期の振り返り

言語学入門

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻語学群	神田 あずみ	全員 Both	金曜日 1時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

- ・言語学の基礎知識を身に付ける。
- ・日本語を「母語話者にとっての国語」としてではなく「外国語の一つ」として客観的に捉えられるようにする。
- ・日本語だけではなく、世界で話されている言語についても概観する。
- ・知識としてだけでなく、自分自身で言語を分析・考察する力を養う。

その他

教科書	『やさしい言語学』高橋留美・大塚みさ・杉本淳子・田中幹大著 研究社
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	出席・授業への参加態度・課題への取り組み・課題の提出率などにより総合的に判断する。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション 言語とは ラングとパロール
2講目	世界の諸言語 「世界で話されている言語はいくつ?」
3講目	世界の諸言語 「日本語はどこから来たの?」
4講目	世界の諸言語 言語の種類 言語の消滅
5講目	言語の特徴 「人が話すことばと動物の鳴き声との違いって何?」
6講目	言語の特徴 言語とは 音声言語 ソシユール
7講目	言語の特徴 言語の二重分節性
8講目	音声学 調音音声学、音響音声学、聴覚音声学
9講目	音声学 子音と母音 音節 音声の50音図
10講目	音韻論 「日本語の文字数と音は同じではありません」
11講目	音韻論 高低アクセント、イントネーション
12講目	形態論 形態素
13講目	語彙論 字種 カバー率
14講目	語彙論 オノマトペ 助数詞
15講目	期末試験

東アジア概論

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻教養群	松波 宏隆	1年生 First Year	火曜日 2時間目	講義	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

東アジア各地の地理・民族・政治・経済・文化の基礎知識を理解すること、および現在語られている情報がどのような位相の中にあるかを考える。

その他

教科書	適宜プリントを配布する。
参考文献	
学習内容 授業形態	講義形式
留意点	火曜日と金曜日の連続で講義を進めます
授業時間以外の学習	特になし
評価方法	学期末の試験で評価する。暗記を問うもので無く、講義内容をいかに理解出来たかで評価する。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	アジアとは
2講目	東アジアの風土
3講目	中華人民共和国1 地理・民族
4講目	中華人民共和国1 産業
5講目	中華人民共和国2 政治
6講目	中華人民共和国2 経済
7講目	中華人民共和国2 社会
8講目	中华民国
9講目	大韓民国1 地理・社会
10講目	大韓民国1 産業
11講目	大韓民国2 政治
12講目	大韓民国2 経済
13講目	朝鮮民主主義人民共和国
14講目	総括
15講目	まとめ(補足と総括)

東アジア概論

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 専攻教養群	松波 宏隆	指定なし	金曜日 2時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

東アジア各地の地理・民族・政治・経済・文化の基礎知識を理解すること、および現在語られている情報がどのような位相の中にあるかを考える。

その他

教科書	適宜プリントを配布する。
参考文献	
学習内容 授業形態	講義形式
留意点	火曜日と金曜日の連続で講義を進めます
授業時間以外の学習	特になし
評価方法	学期末の試験で評価する。暗記を問うもので無く、講義内容をいかに理解出来たかで評価する。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	アジアとは
2講目	東アジアの風土
3講目	中華人民共和国1 地理・民族
4講目	中華人民共和国1 産業
5講目	中華人民共和国2 政治
6講目	中華人民共和国2 経済
7講目	中華人民共和国2 社会
8講目	中华民国
9講目	大韓民国1 地理・社会
10講目	大韓民国1 産業
11講目	大韓民国2 政治
12講目	大韓民国2 経済
13講目	朝鮮民主主義人民共和国
14講目	総括
15講目	まとめ(補足と総括)

Career Studies (英米)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 由利子	1年生 First Year	金曜日 2時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

Career Studies

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	福森 雅史	1年生 First Year	火曜日 4時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
学生生活全般に関するカウンセリングや進路に関する個人面談が随時行われるので、編入や就職、留学などの進路などについて、担当の先生に相談し、助言を得ることができる。また、学校からの連絡事項の伝達なども、この授業で受けることができる。なお、毎回の授業では、主に編入試験対策の授業として、文法や語彙、リーディング授業の補強や、小論文の書き方の指導などを受けることができるため、編入時に必要な知識を得ることが可能となる。

その他

教科書	使用しない(随時、ハンドアウトを配布)
参考文献	授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	講義・演習
留意点	英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書も可)。教員の許可なく、受講中に私語をしたり、スマートフォンを触ったりしないこと。わからないところは授業中や授業後に積極的に質問すること。知らない単語が出てきたときは、その意味や用法を辞書などで確認し、覚えること。
授業時間以外の学習	自身の志望校を明確にして、その情報を集めたり、対策を考えたりする。また、毎回の授業範囲をよく復習しておくこと。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。授業への積極的な取り組み 50%、小テスト 20%、課題 30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入), 個人面談ならびに編入学試験対策指導
2講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
3講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
4講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
5講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
6講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
7講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
8講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
9講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
10講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
11講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
12講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
13講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
14講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
15講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導 , 春学期のまとめと今後の課題

Career Studies

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 利枝	指定なし	火曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
学生生活全般に関するカウンセリングや進路に関する個人面談が随時行われるので、編入や就職、留学などの進路などについて、担当の先生に相談し、助言を得ることができる。また、学校からの連絡事項の伝達なども、この授業で受けることができる。なお、毎回の授業では、主に編入試験対策の授業として、文法や語彙、リーディング授業の補強や、小論文の書き方の指導などを受けることができるため、編入時に必要な知識を得ることが可能となる。

その他

教科書	使用しない(随時、ハンドアウトを配布)
参考文献	授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	
留意点	英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書も可)。教員の許可なく、受講中に私語をしたり、スマートフォンを触ったりしないこと。わからないところは授業中や授業後に積極的に質問すること。知らない単語が出てきたときは、その意味や用法を辞書などで確認し、覚えること。
授業時間以外の学習	自身の志望校を明確にして、その情報を集めたり、対策を考えたりする。また、毎回の授業範囲をよく復習しておくこと。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。授業への積極的な取り組み 50%、小テスト 20%、課題 30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入), 個人面談ならびに編入学試験対策指導
2講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
3講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
4講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
5講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
6講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
7講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
8講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
9講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
10講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
11講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
12講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
13講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
14講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
15講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導 , 春学期のまとめと今後の課題

Career Studies

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	大内 和正	指定なし	木曜日 3時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
学生生活全般に関するカウンセリングや進路に関する個人面談が随時行われるので、編入や就職、留学などの進路などについて、担当の先生に相談し、助言を得ることができる。また、学校からの連絡事項の伝達なども、この授業で受けることができる。なお、毎回の授業では、主に編入試験対策の授業として、文法や語彙、リーディング授業の補強を中心にした授業を行う。編入試験突破に必要な知識・実力を養成することも、この授業の目標である。

その他

教科書	使用しない(随時、ハンドアウトを配布)
参考文献	授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	
留意点	英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書も可)。教員の許可なく、受講中に私語をしたり、スマートフォンを触ったりしないこと。わからないところは授業中や授業後に積極的に質問すること。知らない単語が出てきたときは、その意味や用法を辞書などで確認し、覚えること。
授業時間以外の学習	自身の志望校を明確にして、その情報を集めたり、対策を考えたりする。また、毎回の授業範囲をよく復習しておくこと。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。授業への積極的な取り組み 50%、授業課題50%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入), 個人面談ならびに編入学試験対策指導
2講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
3講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
4講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
5講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
6講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
7講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
8講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
9講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
10講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
11講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
12講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
13講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
14講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導
15講目	個人面談ならびに編入学試験対策指導 , 春学期のまとめと今後の課題

Career Studies (英米以外)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	河本 茜	2年生 Second Year	金曜日 2時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

Career Studies (2K2/2K3)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	河本 茜	全員 Both	金曜日 1時間目	講義	指定なし 春学期

講座到達目標

到達目標

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

実践日英対照研究

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ジェレマイア・ウズ	全員 Both	木曜日 1時間目	指定なし	指定なし 春学期

講座到達目標

到達目標

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

言語と平和

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	花岡 慧	1年生 First Year	月曜日 6時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
建学の精神であるPax Mundi Per Linguas(言語を通して世界の平和を)が現代世界の重要課題であることを理解する、それが本講義の目標である。春学期の授業はリレー形式で行い、現代世界の抱える問題に対する鋭い問題意識、高い課題設定能力の養成を目指す。

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	春学期は、京都外大の「言語と平和」授業をオンデマンド形式で配信し、内容に関する問いに対してMicrosoft Teams上のForms機能を用いて回答する形式で進めていく。
留意点	映像資料に関しては毎週決まった時刻に課題とともにアクセス可能にするためTeamsを通したアナウンスを見逃さないこと。何か疑問点やシステム上の不備などが考えられる場合は速やかに担当講師迄知らせること。
授業時間以外の学習	特に予習・復習などは必要ないが、課題の提出にはそれぞれ期限を設けるので遅れることなく提出すること。
評価方法	各授業における課題提出回数に基づく出席数と回答の内容により評価。特に論述部分を重視するものとする。
実務経験と 科目の関連	学園建学の精神であるPax Mundi per Linguas「言語を通して世界の平和を」という理念を理解するための授業。複数で担当する講師は、実務として現代社会の諸事情に様々な立場から携わっており、オムニバス形式により、各々の経験を活かして、具体的な政策課題やその解決に向けた取り組みについて講義し、現代社会に対する高い問題意識、課題設定能力を身につけることを目指す。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	第一回
2講目	第二回
3講目	第三回
4講目	第四回
5講目	第五回
6講目	第六回
7講目	第七回
8講目	第八回
9講目	第九回
10講目	第十回
11講目	第十一回
12講目	第十二回
13講目	第十三回
14講目	第十四回
15講目	(本講義は100分×14回分の授業として取り扱うため、15回目の講義はありません。)

Homestay & Travel English

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ロバート・カザーリ	指定なし	金曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>In 2019, the world first learned the word 'coronavirus'.</p> <p>As a result, travel became extremely difficult for everyone. Students of English, like you, found it impossible to travel overseas for the 'homestay' experience. But now, in 2023, people are beginning to think about overseas travel again.</p> <p>You should, too.</p> <p>Start thinking about going overseas on a homestay or going on a working holiday. That's why this course is useful to you. It's a wide-ranging course designed for students who have the ambition to do this.</p> <p>Lessons will help students prepare for the overseas experience and will be divided into 3 main topics:</p> <p>Topic 1: Getting Ready: What do you need to do before you go? Topic 2: Living Overseas: What's it like to live overseas? Topic 3: Host Families: What's it like hosting a student?</p> <p>This course will also involve studying cities that are popular tourist destinations worldwide. Additionally, this course will examine the popularity of Japan as a tourist destination, particularly Kyoto.</p> <p>Lessons will include pair-work, group-work, and role-play. Students will also be required to make short presentations throughout this course.</p>

その他

教科書	A textbook is not required for this course. All materials will be presented in class.
参考文献	
学習内容 授業形態	In lessons, students will be required to participate in a wide-variety of activities and will include: pairwork, groupwork, presentations and discussion-based activities. As this is a course that requires students to practice real-life situations, role-play activities will also be included.
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	Evaluation and grading will be decided by the instructor responsible for the course. Evaluation criteria will include: attendance, attitude, participation, motivation and evidence of self-study.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Introduction & Overview
2講目	Topic 1: Getting Ready: What do you need to do before you go?
3講目	Topic 1: Getting Ready: What do you need to do before you go?
4講目	Topic 1: Getting Ready: What do you need to do before you go?
5講目	Topic 1: Presentation
6講目	Topic 2: Living Overseas: What's it like to live overseas?
7講目	Topic 2: Living Overseas: What's it like to live overseas?
8講目	Topic 2: Living Overseas: What's it like to live overseas?
9講目	Topic 2: Presentation
10講目	Topic 3: Host Families: What's it like hosting a student?
11講目	Topic 3: Host Families: What's it like hosting a student?
12講目	Topic 3: Host Families: What's it like hosting a student?
13講目	Topic 3: Presentation
14講目	End of Semester Test
15講目	Semester Review

Music & Language

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	マーク・ドッズ	指定なし	金曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>This course will be dedicated to examining and discussing all aspects of music.</p> <p>We will look at lyrics, give backgrounds to the songs (the era they were released in and the artists). We will also try to perform songs within our group!</p> <p>This class is not only for musicians, but for any students who are interested in discussing one of the most important aspects of every civilization -- music. Students and instructor will take turns introducing songs and we will watch music videos, do word gap exercises, analyze the lyrics, etc.</p> <p>Students will have lots of time to work on improving their speaking skills to be able to talk about the music they love, and learn about music they had not known.</p> <p>Note: Adjustments will be made to the syllabus according to the ability and needs of the students.</p>

その他

教科書	We will not use a textbook in this course. Photocopies will be provided when necessary.
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	Class participation = 50% // Mini-presentations = 50%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Semester Overview
2講目	Introductions: Finding out the musical tastes of the group
3講目	Mini-presentation of a song & group discussion
4講目	Mini-presentation of a song & group discussion
5講目	Performance & Discussion
6講目	Mini-presentation of a song & group discussion
7講目	Mini-presentation of a song & group discussion
8講目	Performance & Discussion
9講目	Mini-presentation of a song & group discussion
10講目	Mini-presentation of a song & group discussion
11講目	Performance & Discussion
12講目	Mini-presentation of a song & group discussion
13講目	Mini-presentation of a song & group discussion
14講目	Performance & Discussion
15講目	Semester Review

英語の総復習講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 利枝	1年生 First Year	火曜日 5時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

4技能(話す・聞く・書く・読む)全ての基本となる「文法」に関し,各基本事項およびその体系について学習する。また,基本問題を多く解くことで各文法事項の使い方を定着させ,それを完全に身に付けることを目標とする。

その他

教科書	ハンドアウト
参考文献	授業の中で指示します。
学習内容 授業形態	
留意点	英語の総復習講座 と をセットで受講すること。教材はなくさないこと。必ず、その日のうちに復習すること。
授業時間以外の学習	授業で学習したことを、必ずその日のうちに復習すること。
評価方法	出席状況、授業態度、課題、小テスト、学期試験を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション:講座説明、授業の進め方、評価方法 レベルチェック
2講目	Phonics 品詞:単語の働き 文型:文の骨組み
3講目	be動詞(現在形)
4講目	一般動詞(現在形)
5講目	名詞・代名詞の複数形:名詞の複数形、How many ~? some と any、代名詞の複数形
6講目	形容詞・副詞
7講目	命令文
8講目	目的格・所有代名詞
9講目	疑問詞で始まる疑問文
10講目	現在進行形
11講目	be動詞(過去形)
12講目	一般動詞(過去形)
13講目	過去進行形
14講目	未来の文
15講目	学期末試験と春学期の復習

英語の総復習講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 利枝	全員 Both	木曜日 1時間目	講義	指定なし 春学期

講座到達目標

到達目標

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

英米文学概論

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	小林 佳寿	2年生 Second Year	金曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
ヨーロッパにおける文学の誕生について知り、当時のイギリスの位置づけの理解と英文学史の流れ、代表的な作家や作品を知る。特に英語・英文学科への編入を志している学生は英文学の様々な特徴を理解し、編入後の専攻を決める上での知識につなげる。

その他

教科書	ハンドアウトを使用する。
参考文献	必要に応じて授業中に紹介する。
学習内容 授業形態	講師による講義、学生によるグループ発表、教室でのDVDの視聴、講師によるフィードバックを1セットとした授業である。
留意点	編入を志す者だけでなく、イギリス、アメリカ、文学や映画の好きな学生を歓迎する。わからないところは授業中やTeams等で積極的に質問すること。質問は「授業への積極的な取り組み」として大いに評価する。
授業時間以外の学習	興味を持った作家については作品(日本語訳でよい)を読んでみる。また授業内で指示のあった映画も出来るだけ見ておくこと。編入を志す学生は編入試験のみならず面接時や編入後も興味のある作家や時代について必ず聞かれるので好きな作家や作品を積極的に考えておくこと。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。学期末テスト35%、授業内でのグループ発表35%、授業への積極的な取り組み 30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入)
2講目	文学の起源とは 文学とは小説か 英語はどこから来たのか 古英語と『ベオウルフ』 中英語とチョーサーの『カンタベリー物語』
3講目	16世紀エリザベス朝の詩と劇 シェイクスピアの登場
4講目	映画『ロミオとジュリエット』鑑賞
5講目	17世紀ピューリタン革命とミルトンの『失樂園』、18世紀ジャーナリズムと『ロビンソン・クルーソー』 『ガリバー旅行記』
6講目	小説の誕生とジェーン・オースティン
7講目	映画『プライドと偏見』鑑賞
8講目	ゴシックからロマン派へ 詩人ワーズワース、シェリー、キーツ
9講目	19世紀ビクトリア朝時代とチャールズ・ディケンズ
10講目	BBCドラマ『オリヴァー・ツイスト』鑑賞
11講目	ブロンテ姉妹、ダーウィン『進化論』、世紀末文学へ
12講目	意識の流れ とモダニズム 20世紀～第二次世界大戦までの小説、詩、戯曲
13講目	第二次世界大戦後の文学
14講目	英文学史のまとめと考察
15講目	春学期期末テストとその解説、研究課題の見つけ方など

観光社会学 / 前期のみ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	吉田 全宏	全員 Both	月曜日 5時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
観光やそれに付随する社会現象について、基本的な知識を身に着けた上で説明することができる。

その他

教科書	なし。
参考文献	授業中、適宜紹介する。
学習内容 授業形態	スライドや映像を用いた講義を行う。
留意点	社会学や観光になじみのない学生を歓迎します。状況に応じてシラバスを一部変更する場合があります。
授業時間以外の学習	授業で学習したことは、しっかり復習しておくこと。
評価方法	レポート60% 授業参加40%。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概要と導入
2講目	観光社会学とは
3講目	観光社会学基礎理論
4講目	前近代社会と観光
5講目	近代社会と観光1 マスツーリズムとは
6講目	近代社会と観光2 マスツーリズムの発展と影響
7講目	ポストモダン社会と観光1 ポストモダン社会とは
8講目	ポストモダン社会と観光2 ニューツーリズム
9講目	ポストモダン社会と観光3 コンテンツツーリズム
10講目	ポストモダン社会と観光4 オーバーツーリズム
11講目	宗教と観光
12講目	まちづくりと観光
13講目	ケーススタディ 聖地は誰のものか?
14講目	ケーススタディ 大阪コリアタウン
15講目	まとめ 期末レポート

観光人類学 / 前期のみ

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	番匠 健一	指定なし	金曜日 1時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
本講義では、観光現象に関わる多様なテーマを取り上げ、関連する事例や理論などの紹介を通じて、受講生が自身の分析枠組みをもつこと目標とする。

その他

教科書	なし
参考文献	山下晋司『観光人類学』1996, 山下晋司『観光文化学』2007, 橋本和也『観光経験の人類学』2011, ヴァレン・L・スミス編『ホスト・アンド・ゲスト：観光人類学とはなにか』2018, エドワード・M. ブルーナー『観光と文化 旅の民族誌』2007, ジョン・アーリ、ヨナス・ラースン『観光のまなざし』2014 アンソニー・エリオット、ジョン・アーリ『モバイルライブズ』2016年
学習内容 授業形態	映像や資料について議論・意見交換する機会をもうけるので、受講生の積極的な参加をのぞみたい。
留意点	人類学や観光というテーマになじみのない学生を歓迎する。将来、観光政策やビジネスに関わろうと考えている学生は、積極的に受講してほしい。
授業時間以外の学習	
評価方法	平常点50%(毎回の講義でのコメントシートの内容、学期途中での課題：観光ガイドブックのページ作成、観光ツアーの企画書) 学期末レポート50%(観光に関わる自由論題のレポート)
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概要と導入：観光人類学とは？
2講目	観光の歴史：近代レジャーの誕生と旅
3講目	観光の歴史：万国博覧会と近代の目線
4講目	観光の歴史：日本帝国と植民地観光
5講目	観光の歴史：戦後日本の国土開発と観光
6講目	映像でみる観光
7講目	ケーススタディ：沖縄イメージ
8講目	ケーススタディ：ダークツーリズムと廃墟
9講目	ケーススタディ：長崎、軍艦島とキリシタン
10講目	ケーススタディ：アニメと聖地巡礼
11講目	映像でみる観光
12講目	観光産業と地域社会：国際観光都市京都
13講目	観光産業と地域社会：グリーンツーリズムと北海道
14講目	観光産業と地域社会：Iターンと観光開発
15講目	まとめ：観光人類学と観光の未来

編入英語対策講座 A

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 利枝	1年生 First Year	水曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
国公立大学や難関私立大学への編入を希望している人のためのクラス。さまざまなトピックを扱う高度な英文エッセイを精読することで、英語の読解力を強化することができるようになる。また、既習の文法事項を再確認することで、より複雑な構造の英文が理解できるようになる。

その他

教科書	毎回ハンドアウトを配布する。
参考文献	授業中に詳しく紹介する。
学習内容 授業形態	
留意点	配布されたハンドアウト教材は、きちんと整理・保存すること。
授業時間以外の学習	毎回新しい教材に取り組むので予習は不要である。しかし、授業後はしっかりと復習して、学習した事項について理解の定着を図ること。
評価方法	達成度達成度確認テスト 70%、授業の取り組み 30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	講目授業の概要と導入
2講目	英文エッセイ(1)の精読と文法事項(動詞の語法1)の確認
3講目	英文エッセイ(2)の精読と文法事項(動詞の語法2)の確認
4講目	英文エッセイ(3)の精読と文法事項(時制1)の確認
5講目	英文エッセイ(4)の精読と文法事項(時制2)の確認
6講目	英文エッセイ(5)の精読と文法事項(助動詞1)の確認
7講目	英文エッセイ(6)の精読と文法事項(助動詞2)の確認
8講目	英文エッセイ(7)の精読と文法事項(不定詞)の確認
9講目	英文エッセイ(8)の精読と文法事項(動名詞)の確認
10講目	英文エッセイ(9)の精読と文法事項(分詞1)の確認
11講目	英文エッセイ(10)の精読と文法事項(分詞2)の確認
12講目	英文エッセイ(11)の精読と文法事項(比較1)の確認
13講目	英文エッセイ(12)の精読と文法事項(比較2)の確認
14講目	英文エッセイ(13)の精読と文法事項(比較3)の確認
15講目	達成度確認テストとその解説および今後の課題

編入英語対策講座 B

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	福森 雅史	指定なし	水曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
4年制大学への編入学を目指すための対策を行う。既に学習した文法事項の復習を行って、基本的な文法の知識を定着させることができる。また演習問題に繰り返し取り組むことで、大学編入に必要な英語力の基礎を身に付けることができる。

その他

教科書	使用しない(随時、ハンドアウトを配布)
参考文献	授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	
留意点	英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書も可)。教員の許可なく、受講中に私語をしたり、スマートフォンを触ったりしないこと。わからないところは授業中や授業後に積極的に質問すること。知らない単語が出てきたときは、その意味や用法を辞書などで確認し、覚えること。
授業時間以外の学習	必ず毎回の授業範囲をよく復習すること。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。テスト 50%、小テスト 20%、授業への積極的な取り組み 30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入)
2講目	文型 1
3講目	文型 2
4講目	文の構造
5講目	基本時制 1
6講目	基本時制 2
7講目	完了形
8講目	助動詞
9講目	復習
10講目	受動態
11講目	不定詞 1
12講目	不定詞 2
13講目	動名詞
14講目	分詞
15講目	学期末テストとその解説

読解力養成講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	薄雲 鈴代	指定なし	火曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
評論文を通して読解のポイント(事実と意見の区別・文章構成・接続関係・対比・抽象と具体・演繹と帰納)を身につける。 国内外の時事問題に敏感になり、それが自分とどう関係してしていくのか、自身の考えを深める。 自分の考えを筋道立てて述べられる(書ける)。

その他

教科書	適宜、評論文や新聞記事を資料として配布。
参考文献	授業で随時紹介します。
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式。一行一行、丁寧に読む練習を行い、毎時間、要約文を書いていきます。また、各自で一冊読破し「わたしのおすすめの本」として、授業内で紹介してもらいます。
留意点	要約の課題に取り組んでもらったものを添削解説する。講義形式の授業ではなく、1回1回の授業が「読む」「書く」の訓練と考えて下さい。したがって、出席が重要です。
授業時間以外の学習	各自のノートに「印象に残った新聞や雑誌の記事」をまとめてください。提出すれば評価の対象にしません。
評価方法	出席と提出物と期末テストの総合評価
実務経験と 科目の関連	大学受験予備校で現代文読解と小論文対策を務めた後、高校の国語教師として大学受験対策を担当。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	いま、日本そして世界が抱える問題を知る
2講目	新聞記事が正しい文章ではないことを知る
3講目	入試問題の長文読解を読んでみる
4講目	要約を通して読解力を付ける 読解力向上の急所
5講目	要約を通して読解力を付ける 読解力向上の急所(言葉の重みに対する感覚を鍛える)
6講目	要約を通して読解力を付ける 要約とは何をどうすることか
7講目	要約を通して読解力を付ける 要約の方法(具体例・補足説明・横道の扱い)
8講目	要約を通して読解力を付ける 要約の方法(繰り返し・導入部の扱い)
9講目	要約を通して読解力を付ける 要約の方法(解説・根拠の扱い)
10講目	要約を通して読解力を付ける 読解力向上の急所(全体を視野に入れ、何度も読み直す)
11講目	要約を通して読解力を付ける
12講目	要約を通して読解力を付ける 改めてスタートラインに立つ(文章の特徴を見つける)
13講目	要約を通して読解力を付ける 要約練習問題中級編へ(重要基本対義語について)
14講目	読書感想文とブックレビューの違い
15講目	春学期テストとその解説・今後の課題(秋学期に向けて)

小論文対策講座 (1E1/2・1C)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	鈴木 賢一郎	1年生 First Year	金曜日 1時間目	講義	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

小論文の基礎を学び、過去問題に取り組めるレベルへの到達を目指します。
例年3～4割くらいの受講生が、15回のレッスンを待たずに大学入試(小論文)の合格ラインの小論文を書けるようになっています。

その他

教科書	すべて講師側で用意し、コピーして配布しますので購入の必要はありません。
参考文献	すべて講師側で用意し、コピーして配布しますので購入の必要はありません。
学習内容 授業形態	文章をの書く上で留意点等を解説した後、実践練習をしていきます。 小論文の添削基準を明確に公開し、その採点基準にのった文章の書き方をレッスンします。 基本的にその場で添削し、アドバイスいたします。
留意点	どうせやるなら一生懸命。
授業時間以外の学習	習熟度により検討
評価方法	出席とテスト
実務経験と 科目の関連	高校、専門学校にて、国語・小論文の授業を24年間担当しています。 入試問題の作成もしておりますので、出題者の求める文章の書き方をお伝えしていきます。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	文章の基本となる型(頭括型、尾括型、両括型)について
2講目	字数の増やし方 等
3講目	小論文入試の採点基準 等(元採点官による採点基準の公開)
4講目	小論文の型(前編)
5講目	小論文の型(後編)
6講目	課題についての事前学習(小論文入試再頻出テーマ) 等
7講目	小論文入試再頻出テーマを実際に書いてみる。 添削
8講目	読点の打ち方 具体例の作り方 等(意外と知らない読点のルール)
9講目	接続語の使いかた 等(説得力が増す接続語の使い方)
10講目	文章の展開の仕方 等(内容を深く掘り下げる方法)
11講目	減点されないために(文法問題) 等
12講目	大学入試過去問題にとりくむ
13講目	大学入試過去問題にとりくむ
14講目	大学入試過去問題にとりくむ
15講目	修了テスト

キャリアデザイン論

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 由利子	1年生 First Year	金曜日 1時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
本講座は、企業で採用活動を担当し、その後個人の職業選択や能力開発を支援する産業カウンセラーやキャリアコンサルタントなどの資格を取得した教員が講座担当しています。,,就職活動の流れを理解し、この1年で取り組むべきことを明確にする。

その他

教科書	なし
参考文献	なし
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)講義形式。講義とグループワーク、発表
留意点	遅刻・欠席はしないように。
授業時間以外の学習	
評価方法	授業への取組と課題の達成状況で成績を決定します。
実務経験と 科目の関連	京阪電気鉄道(株)人事部(9年)。産業カウンセラー資格取得(2010年)。キャリアコンサルタント資格取得(2010年)。実務経験を通して就職活動に臨む学生に対して、内定を勝ち取るまでに必要なことを指導していく。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概論と導入
2講目	充実した学生生活の送り方
3講目	卒業後の進路選択パターンと、就職活動のながれ
4講目	自分の将来を描く キャリアビジョンの作成
5講目	目標設定と計画の進め方 予想される困難の乗り越え方
6講目	目標設定と計画の進め方 計画がうまくいかなかった場合の対処方法
7講目	分かりやすく伝わりやすい話し方練習 1
8講目	分かりやすく伝わりやすい話し方練習 2
9講目	分かりやすい伝わりやすい話し方練習 3
10講目	最近の社会と仕事の情勢を知る 情報の収集と活用方法
11講目	自己分析と仕事研究1 ここまでの自分を振り返り職種と業種について学ぶ
12講目	自己分析と仕事研究2 適性診断を経験し、今後調べる仕事を決める
13講目	自己PR文作成1
14講目	自己PR文作成2
15講目	自己分析と仕事研究4 夏休みに実行する課題を決める

英検(2級)対策講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	中桐 謙一郎	1年生 First Year	木曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

実用英語技能検定試験(英検)2級の一次試験(リーディング・ライティング・リスニング)と二次試験(スピーキング)の実践的な問題を解くことにより、試験に合格できる英語力を修得することができるようになる。

その他

教科書	プリント教材
参考文献	授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	講義・演習
留意点	英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書も可)。教員の許可なく、受講中に私語をしたり、スマートフォンを触ったりしないこと。わからないところは授業中や授業後に積極的に質問すること。知らない単語が出てきたときは、その意味や用法を辞書などで確認し、覚えること。
授業時間以外の学習	次回範囲を予習して、わからない単語の意味を調べたり、英文の意味を考えたりしておくこと。また、毎回の授業範囲をよく復習しておくこと。
評価方法	次の評価方法を基に総合的に評価する。学期末テスト 50%、小テスト 20%、授業への積極的な取り組み 30%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(授業の概要と導入),英検2級対策(プリント)
2講目	英検2級対策(プリント)
3講目	英検2級対策(プリント)
4講目	英検2級対策(プリント)
5講目	英検2級対策(プリント)
6講目	英検2級対策(プリント)
7講目	英検2級対策(プリント)
8講目	英検2級対策(プリント)
9講目	英検2級対策(プリント)
10講目	英検2級対策(プリント)
11講目	英検2級対策(プリント)
12講目	英検2級対策(プリント)
13講目	英検2級対策(プリント)
14講目	英検2級対策(プリント)
15講目	学期末テストとその解説

中国語検定対策講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	松野 恵美	1年生 First Year	水曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
漢語水平考試(HSK)をはじめとする中国語検定試験への対策として、頻出単語をマスターする。 具体的にはHSK3級や中国語検定4級レベルの単語習得が目標である。

その他

教科書	「品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙1級 4級」(白帝社)
参考文献	
学習内容 授業形態	教科書「品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙1級 4級」から毎回範囲を指定して単語を学習し、その後単語テストを実施する。また授業では単語の音読をして、発音習得の練習もする。
留意点	春学期は単語の暗記を中心にした授業なので、文法対策をしたい学生は秋学期開講の中国語検定対策から受講して下さい。秋学期からは主に中国語学科・日本語コミュニケーション学科日本語教師養成クラス副専攻中国語向けになります。その他の学科の学生が受講する場合は第2外国語等で中国語の基礎を学習しておくことが望ましいです。
授業時間以外の学習	毎回課される単語テストへの対策
評価方法	小テストと定期テストの結果(60%)授業に対する取り組み方(40%)を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	春学期授業の概要と導入
2講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
3講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
4講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
5講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
6講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
7講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
8講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
9講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
10講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
11講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
12講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
13講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
14講目	単語の学習、発音練習、単語テスト
15講目	まとめと今後の課題

韓国語能力検定対策講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	郭 真希	全員 Both	火曜日 5時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
韓国語能力試験の問題形式に慣れ、自分が苦手とする問題形式を克服すること。

その他

教科書	プリント配布
参考文献	
学習内容 授業形態	韓国語能力試験のテーマ別の対策を最初の数週間で行います。 後半に関しては各自過去問を解き、不正解率が高い問題に関しては解説をします。 また問題内に出てくる単語テストを準備するため必要な人は活用してください。
留意点	TOPIK の対策は行わないため、初級レベルの人は受講しないでください。
授業時間以外の学習	
評価方法	出席100%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業概要の説明
2講目	読解の文法問題のまとめ
3講目	短文並べ替え問題の対策
4講目	作文の注意点、原稿用紙の書き方
5講目	作文対策
6講目	作文対策
7講目	読解対策
8講目	読解対策
9講目	過去問
10講目	過去問
11講目	過去問
12講目	過去問
13講目	過去問
14講目	過去問
15講目	過去問

日本語検定対策講座 (N1)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	岩堀 容子	全員 Both	火曜日 1時間目	講義	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
日本語能力試験N1に合格する

その他

教科書	なし 毎回プリント課題を配布
参考文献	
学習内容 授業形態	実践問題を解いて、時間内に解答解説する
留意点	授業のプリントはその日のうちに復習してください。語彙は確実に覚えるように。
授業時間以外の学習	各自、本試験日まで、問題集など手に入れ、計画的に取り組んでください。問題がほしい人は相談してください。
評価方法	授業への積極的参加、期末テストを総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	講義概要と導入/レベルチェック
2講目	演習
3講目	演習
4講目	演習
5講目	演習
6講目	演習
7講目	演習
8講目	演習
9講目	演習
10講目	演習
11講目	演習
12講目	演習
13講目	演習
14講目	演習
15講目	期末テスト 解説と今後の課題

日本語検定対策講座 (N2)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	馬場 美智子	全員 Both	月曜日 2時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
日本語能力試験(JLPT)N2に合格できるレベルに日本語力を引き上げる。

その他

教科書	日本語パワードリルN2 文字語彙、文法
参考文献	授業内で紹介します。
学習内容 授業形態	制限時間内に問題に取り組み、解答解説を行う。
留意点	間違った問題は必ずやり直して理解し覚えるようにしてください。
授業時間以外の学習	授業の解説を待たず、どんどん問題を進めてください。本試験までにできるだけ多くの問題を解くようにしてください。
評価方法	出席率、課題提出率、試験の成績、授業中の態度を総合して評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション、レベルチェック
2講目	問題演習
3講目	問題演習
4講目	問題演習
5講目	問題演習
6講目	問題演習
7講目	問題演習
8講目	問題演習
9講目	問題演習
10講目	問題演習
11講目	問題演習
12講目	問題演習
13講目	問題演習
14講目	期末試験
15講目	期末試験のフィードバック

リメディアルR

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ロバート・カザーリ	2年生 Second Year	月曜日 1時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

This is a remedial class primarily for reading, writing, and grammar classes. Students who have failed such classes take this class in order to develop the skills and make up the credit points they require. The content will depend somewhat on the particular students who take the class and the classes and skills they need to develop.

Because the content depends upon which students sign up, it cannot be specified in advance.

その他

教科書	No textbook. Handouts.
参考文献	
学習内容 授業形態	This is a remedial class primarily for reading, writing, and grammar classes. Students who have failed such classes take this class in order to develop the skills and make up the credit points they require. The content will depend somewhat on the particular students who take the class and the classes and skills they need to develop.
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	The teacher will explain assessment in the class.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

TOEIC TEST Practice Advanced

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ハワード・ジョーンズ	全員 Both	水曜日 4時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>**THIS COURSE IS ONLY OPEN TO 2nd YEAR STUDENTS**</p> <p>This Semester III elective will give students extra practice for the TOEIC Listening & Reading Test. Students will have the opportunity to practice and consolidate techniques learned in regular lessons. It is important for students to remember that the only way to really improve your TOEIC score is to practice, practice, practice.</p> <p>In Semester III, the course will involve timed Listening Practice using authentic TOEIC Tests and will help students to become more familiar with the overall test format and the style of questions students are exposed to on the test. With regular practice, it is hoped students will improve their scores in preparation for transfer to university and job-hunting. In Semester IV, course contents will focus on Reading Practice.</p> <p>Course Contents for Semester III will incorporate elements of Parts 1-4 of the TOEIC Test:</p> <p>Part 1: Photographs Part 2: Question-Response Part 3: Short Conversations Part 4: Short Talks</p> <p>The syllabus shown below is designed only as a guide. Course contents will be adapted depending upon the number of students in the class. Additionally, contents will be modified according to the level, ability and needs of the group.</p>

その他

教科書	A textbook is not required for this course, but students will be required to refer to the TOEIC Upgrade text used in regular TOEIC lessons.
参考文献	
学習内容 授業形態	<p>It is extremely important for students to remember that the TOEIC Test is very difficult. A considerable amount of self-study, lesson review, language investigation is required to improve your score. Outside of lessons, it is important to practice. Students will be encouraged to subscribe to podcasts, take practice tests, and review vocabulary regularly.</p> <p>Participation, motivation and evidence of self-study will influence the final grade for this course. Scores from TOEIC IP tests will also be included in the final evaluation.</p>
留意点	Regular attendance is an important aspect of this course.
授業時間以外の学習	
評価方法	Exact evaluation criteria will be decided by the instructor responsible for the class.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Course Introduction & Semester Overview
2講目	Practice Session 1
3講目	Practice Session 2
4講目	Practice Session 3
5講目	Practice Session 4
6講目	Practice Session 5
7講目	Practice Session 6
8講目	Practice Session 7
9講目	Practice Session 8
10講目	Practice Session 9
11講目	Practice Session 10
12講目	Practice Session 11
13講目	Practice Session 12
14講目	Practice Session 13
15講目	Semester Review

探究

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	辻 勝也	全員 Both	金曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<ul style="list-style-type: none">・興味関心に気づく・課題を発見することができる・論理的に説明できる・ポスターを作ることができる・論理的な文章が書ける・課題を解決することができる・進路志望が明確になる・志望理由書が書ける・課題小論文に対応できる

その他

教科書	はじめての論文作成術(宅間紘一著、日中出版)
参考文献	
学習内容 授業形態	現代日本社会の抱える課題について考察し、その課題を論理的に解決するための方法についてワークショップ形式も用いて学習する。 論理的文章の読解あるいは論理的に説明する手法について学習する。
留意点	必要に応じて国語辞典など。
授業時間以外の学習	随時行う場合もある。
評価方法	レポートや提出物およびルーブリック評価。
実務経験と 科目の関連	高等学校の現行カリキュラム『総合的探究の時間』の授業に当たる探究型学習を2校にわたり構築した。 また、SGH(スーパーグローバルハイスクール)の構想調書を執筆した。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	探究型学習とは
2講目	論理的文章の読解と作成
3講目	自分の興味関心に気づく
4講目	身近にある課題や矛盾に考えよう
5講目	現代日本の抱える課題について知ろう
6講目	現代日本の抱える課題について考察しよう
7講目	課題を発見し、解決する手法を学ぼう
8講目	研究テーマを設定しよう
9講目	問いを立てよう
10講目	論理的文章を書いてみよう
11講目	論理的文章を書いてみよう
12講目	論理的文章を書いてみよう
13講目	ポスターを作ってみよう
14講目	論理的に説明してみよう
15講目	進路志望を明確にしよう

ハンゲル能力検定試験対策講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	相場 友了	全員 Both	木曜日 5時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
各自目標としている受験級の【合格】を目指す。

その他

教科書	プリント教材 授業にて配布
参考文献	ハンゲル検定 過去問
学習内容 授業形態	過去問を使用し、受験級ごと、そして問題ごとに集中的に対策を行う。 受講生全体で対策を行うこともあれば、各自のペースで進める時間も設けられるよう計画しているため、1人1人の要領にあった形で進めてもらえたら嬉しい。 分からない部分は積極的に質問し、90分を有意義に使おう。
留意点	メモができるノートと、プリントをまとめられるファイルがあると便利かと思います。
授業時間以外の学習	
評価方法	初回の授業にて説明。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーションとお試し問題
2講目	級ごとに発音問題を解説
3講目	級ごとに発音問題を解答
4講目	級ごとに発音問題を解答
5講目	級ごとに発音問題を解答
6講目	過去問または模擬試験
7講目	過去問または模擬試験
8講目	過去問
9講目	過去問
10講目	過去問
11講目	模擬試験
12講目	過去問
13講目	過去問
14講目	過去問
15講目	模擬試験と振り返り

観光概論

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	河本 茜	全員 Both	水曜日 1時間目	講義	指定なし 春学期

講座到達目標

到達目標

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	
2講目	
3講目	
4講目	
5講目	
6講目	
7講目	
8講目	
9講目	
10講目	
11講目	
12講目	
13講目	
14講目	
15講目	

第三外国語(英語)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	マーク・グラハム・ギボン	1年生 First Year	月曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>**EXTRA CHANCE TO SPEAK ENGLISH**</p> <p>This course is open to all students in the college seeking further English practice.</p> <p>The main focus of the course is to improve basic communication in spoken English and interact with students of all language ability & level who belong to other departments within the college and come from different countries.</p> <p>The course will employ activities that encourage speakers to communicate without a textbook and will involve pair-work, small group-work and wider group discussion and debate.</p> <p>The course will also draw upon resources and ideas taken from student interests such as: daily activities, movies, sports and other common interests through to topics connected to contemporary society and culture such as: fast-fashion, music, single-use plastics, recycling and so on.</p> <p>The order and duration of the units described below will be dictated by the overall ability of the group and the progress made during the semester. A textbook is not required for this course. Assessment will primarily be decided by the spoken contribution made by students in the class. The syllabus outlined below will be modified.</p>

その他

教科書	A textbook is not required for this course.
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	Evaluation is mainly based upon individual contribution to the class, combined with a high attendance rate.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	INTRODUCTION & COURSE OVERVIEW
2講目	MODULE 1
3講目	MODULE 1
4講目	MODULE 2
5講目	MODULE 2
6講目	MODULE 3
7講目	MODULE 3
8講目	MODULE 4
9講目	MODULE 4
10講目	MODULE 5
11講目	MODULE 5
12講目	MODULE 6
13講目	MODULE 6
14講目	SEMESTER 1 ASSESSMENT
15講目	SEMESTER REVIEW

第三外国語(中国語)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	谷力	指定なし	金曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

中国語の初心者を対象として、中国語の基礎知識を楽しく勉強することを目標とします。また、現在の中国の社会の状況をわかりやすく説明し、皆さんに中国の最新事情を理解していただくことを目標とします。

その他

教科書	プリントを随時配布
参考文献	プリントを随時配布
学習内容 授業形態	講義は教科書に基づいて説明し、練習をします。
留意点	授業に積極的に参加してください。また、状況に応じてシラバスの予定を変更する場合があります。
授業時間以外の学習	できれば毎回復習をしてください。
評価方法	出席率 授業へ参加態度などをもとに総合的に判断します
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の進め方及び中国事情の紹介。発音1(音節、ピンイン、声調など)
2講目	前回の復習、発音2
3講目	前回の復習、発音3、練習(数字、年月日曜日の数え方)
4講目	第1課(自己紹介)
5講目	第2課(指示代名詞、疑問詞など)
6講目	復習1
7講目	第3課(形容詞、述語文)
8講目	第4課(動詞述語文)
9講目	復習2
10講目	第5課(反復疑問文)
11講目	第6課(量詞)
12講目	復習3
13講目	第7課(年齢の聞き方など)
14講目	第8課(介詞)
15講目	春学期のまとめ復習。

第三外国語(韓国・朝鮮語)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	金 賢善	指定なし	水曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

ハングル文字をマスターし、その後基礎文法～会話表現、発音のポイントについて学びながら、韓国語を”難しい”という存在から”身近な”存在にしよう。

その他

教科書	プリント配布
参考文献	できる韓国語 初級 ,世界で一番やさしい韓国語の授業
学習内容 授業形態	
留意点	詳しい内容は初回の授業で伝える予定。
授業時間以外の学習	
評価方法	出席:30%,課題:10%,テスト:60%(過度なスマートフォンの使用や私語は減点対象とする。)
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	韓国語とはどういう言語か。－音節の構造を中心に－
2講目	韓国語の母音習得
3講目	韓国語の子音習得
4講目	韓国語の子音習得
5講目	韓国語の子音習得
6講目	韓国語の母音習得
7講目	音節末の子音(パッチム)の習得
8講目	音節末の子音(パッチム)の習得
9講目	韓国語の発音のルール
10講目	韓国語の発音のルール
11講目	文法
12講目	文法
13講目	文法
14講目	まとめ
15講目	確認テストと今後の課題

第三外国語(タイ語)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	一宮 孝子	指定なし	火曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
タイ語の発音と、基本的な会話力を身につける。

その他

教科書	プリント配布
参考文献	授業中に紹介する
学習内容 授業形態	前半は説明、後半は発音、会話練習[アクティブラーニング]
留意点	タイ語は発音が難しい言語なので、根気強く取り組むことが望ましい。
授業時間以外の学習	授業中に学んだ発音記号の読み方や単語は全て暗記し、次回の授業内容の発音練習を自身で行って授業にのぞむこと。
評価方法	授業への取り組み50%・確認テスト50%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	タイ語の概説と授業の導入
2講目	発音 [子音]
3講目	発音 [母音]
4講目	発音 [声調]
5講目	文法概説
6講目	第1課「こんにちは。」
7講目	第2課「お仕事は何ですか?」
8講目	第3課「どこへ行って来ましたか?」
9講目	第4課「はじめまして。」
10講目	第5課「どこにありますか?」
11講目	第6課「どうですか?」
12講目	第7課「焼き鳥を下さい。」
13講目	第8課「タイ料理が大好きです。」
14講目	第9課「いくらですか?」
15講目	確認テストとその解説および今後の課題

第三外国語(インドネシア語)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ウガ・プルチェカ	全員 Both	金曜日 5時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

インドネシア語の初歩的な会話の勉強をして、基本的コミュニケーションができることを目的とする。

その他

教科書	プリント配布
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	予習・復習すること
授業時間以外の学習	
評価方法	定期試験、出席状況、平常点などによる総合評価
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	ガイダンス
2講目	文字と発音
3講目	会話 APA KABAR ?
4講目	文法と練習
5講目	会話 APA INI ?
6講目	文法と練習
7講目	会話 SIAPA NAMA ANDA ?
8講目	文法と練習
9講目	読解 MEMPERKENALKAN DIRI
10講目	会話 YANG MANA BUNGA ANDA ?
11講目	文法と練習
12講目	読解 SEKOLAHKU
13講目	会話 ADA DI MANA RUMAH ANDA ?
14講目	文法と練習
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

第三外国語(ベトナム語)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	鈴木 康央	指定なし	水曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

ベトナム語の発音、初歩的な文法項目を習得し、簡単な会話表現ができるようになることを目指す。

その他

教科書	プリントを配布する
参考文献	必要に応じて紹介する
学習内容 授業形態	講義形式
留意点	予習復習をしっかりとすること
授業時間以外の学習	新出単語は必ず覚えること
評価方法	適宜実施する小試験と学期末試験
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	ベトナム語とは
2講目	文字と発音
3講目	文字と発音
4講目	覚えるフレーズ
5講目	あなたのお名前は。
6講目	あなたはどちらの国の方ですか。
7講目	あなたは何の仕事をしていますか。
8講目	ベトナム語を勉強して長いですか。
9講目	あなたはいつベトナムに来ましたか。
10講目	まとめ(1)
11講目	あなたは英語を話すことができますか。
12講目	何か飲みましょう。
13講目	お送りさせてくださいね。
14講目	電話番号を教えてくださいませんか。
15講目	まとめと試験

Advanced Composition

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ハワード・ジョーンズ	指定なし	木曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>**THIS COURSE IS ONLY OPEN TO 2nd YEAR STUDENTS**</p> <p>The Advanced Composition Course is designed for 2nd Year students who wish to improve their writing skills, especially for transfer to university. This course takes the student from ‘ Paragraph to Essay ’ and examines the techniques required to write an academic essay.</p> <p>The course begins with ‘ Paragraphs ’ focusing on different types of paragraph composition. Students will practice and examine the differences between: descriptive, persuasive, narrative, and expository paragraphs. Students will practice the different types of language needed in order to achieve effective paragraph writing.</p> <p>The course will then continue with students being introduced to different types of essay question seen in university entrance tests and standard English language tests. Different types of essay to be studied include: persuasive, cause & effect, and compare & contrast.</p> <p>Students will practice constructing coherent and cohesive essays through the following stages:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Brainstorming Ideas 2) Organizing Ideas 3) Drafting Essays 4) Reviewing Essays 5) Revising Essays <p>Students will have the opportunity to practice timed essays using authentic test materials.</p> <p>The syllabus outlined below is just a guide. Course & class content will be selected and amended depending upon the overall level, needs, and progress of the students in the class.</p>

その他

教科書	A textbook is not required for this course. All materials will be presented in class. Materials can also be distributed to students on Microsoft Teams.
参考文献	
学習内容 授業形態	Students will be required to buy a notebook for this course. Essay writing assignments will be set for homework on a regular basis. Failure to complete assignments will negatively influence your grade.
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	Assessment criteria will be decided by the class teacher. Grades will be decided by the teacher based on attendance, participation, and evidence of improvement.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容

1講目	Course Overview
2講目	Types of Paragraph 1
3講目	Types of Paragraph 2
4講目	Types of Paragraph 3
5講目	Types of Essay: An Introduction
6講目	Persuasive Essays 1
7講目	Persuasive Essays 2
8講目	Persuasive Essays 3
9講目	Cause & Effect Essays 1
10講目	Cause & Effect Essays 2
11講目	Cause & Effect Essays 3
12講目	Compare & Contrast Essays 1
13講目	Compare & Contrast Essays 2
14講目	Compare & Contrast Essays 3
15講目	Semester Review

TOEIC Listening I

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	マーク・グラハム・ギボン	全員 Both	火曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>The course is designed as a supplement to the 'Context Listening' course.</p> <p>It is designed for students who wish to focus on improving their skills for the Listening Section of the TOEIC Test.</p> <p>The syllabus covers all 4 parts of the listening test: Part 1 [Photographs], Part 2 [Question-Response], Part 3 [Short Conversations], Part 4 [Short Talks].</p> <p>During the course, students will focus on common situations encountered on the test. Students will also learn the techniques and skills needed for common TOEIC Test distractors such as: homophones, similar-sounding words. Students will also learn about one of the most important skills needed for the test: paraphrasing.</p> <p>The syllabus shown below is just a guide. Lesson content will be adjusted by the teacher according to the overall level, needs and progress of the group.</p>

その他

教科書	No Textbook. All necessary materials for the course will be provided.
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	Regular self-study & review is an important aspect of this course.
授業時間以外の学習	
評価方法	Evaluation criteria will be decided by the instructor responsible for the course, based upon: attendance, participation, motivation and evidence of self-study.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Introduction & Overview
2講目	Introduction to the TOEIC Test: Listening Sections
3講目	Part 1 Photographs
4講目	Part 1 Photographs
5講目	Part 1 Photographs
6講目	Part 1 Photographs
7講目	Part 1 Photographs
8講目	Part 2 Question Response
9講目	Part 2 Question Response
10講目	Part 2 Question Response
11講目	Part 2 Question Response
12講目	Part 2 Question Response
13講目	TOEIC Listening Practice Test
14講目	TOEIC Listening Practice Test
15講目	Semester Review

英語学概論

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	森山 智浩	指定なし	火曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

- (1)主に外国語学部・国際系学部へ編入して言語を専攻する方々が、
・編入面接で自身の専門をしっかりと話してアピールできるようにする。
・編入後、内部進学 of 学生と同等もしくはそれ以上の英語学の知識を持って授業に臨むことができるようにする。
(2)就職を目的にする方々が、就職後、「自身の力で」自分の言語力を改善していけるだけの専門知識を身につける。
(3)映画を観て、そこで運用されている表現の分析や理解を自身の力で進めていくことができるようにする。

以上を到達目標とします。

その他

教科書	適宜プリント配布
参考文献	・『英語の構造 -その奥に潜む原理-』(2006年・小野隆啓 編・金星堂ISBN:978-4764709768)),・『英語教師のための効果的語彙指導法 -認知言語学的アプローチ-』(2006年・森山智浩 他著・英宝社ISBN:978-4269660007),・『映画で学ぶ英語学』(2002年・倉田誠森山智浩他著・くろしおISBN:978-4874249178)
学習内容 授業形態	(1)映画を使って、英語学のさまざまな考え方を学びます。 (2)映画表現を自身で分析して理解していきます。 (3)言語と文化の関係を学び、英語ネイティブスピーカーの考え方を学びます。 (4)興味のある方は、言語に関わる心理学および人工知能(AI)の知識も増やすことができます。
留意点	・英和辞書を「必ず」持参すること(電子辞書可)
授業時間以外の学習	授業内で獲得した専門知識を、他授業内での英語活用、ひいては、日常生活での英語活用に応用すること。
評価方法	・授業参加(ミニッツペーパー含む)50%・グループ研究50%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	授業の概要と導入
2講目	英語学の位置づけ・言語文化の捉え方、英語の専門用語
3講目	認知言語学1(フレーム)-映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』を中心に-
4講目	認知言語学2(色彩概念)-映画『17才のカルテ』を中心に-
5講目	認知言語学3(メトニミー)-映画『プラダを着た悪魔』などを交えて-
6講目	認知言語学4(構造のメタファー)-映画『恋するレシピ~理想の男の作り方』などを交えて-
7講目	認知言語学5(方向づけのメタファー)-映画『エリン・プロコピッチ』などを交えて-
8講目	認知言語学6(投影)-映画『JUNO / ジュノ』などを交えて-
9講目	認知言語学7(図地分化)-映画『アナスタシア』などを交えて-
10講目	認知言語学8(導管メタファー) -映画『ナイトミュージアム』などを交えて-
11講目	認知言語学9(心的走査) -映画『摩天楼(ニューヨーク)はバラ色に』などを交えて-
12講目	グループ研究1
13講目	グループ研究2
14講目	グループ研究3
15講目	グループ研究4

英語表現(構文中心)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	森 誠司	1年生 First Year	木曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

英語をマスターする上で必要な構文・表現をできるだけたくさん身に付けることが通年の目標で、前期では、主に文法を背景にした構文を中心に授業を展開していきます。編入対策・ビジネスでの文書解読作成に役に立つ英文をたくさん習得してください。

その他

教科書	.プリント配布(保存用のファイルを用意すること)
参考文献	構文150(美誠社)
学習内容 授業形態	授業時(講義 演習 解説)/自宅(復習テストに向けての復習) 予習必要なし
留意点	英語を身に付けたいという意気込みのある人
授業時間以外の学習	日本語から英語、英語から日本語という作業を行なってください。英語の表現を出来るだけ増やすように頑張ってください。
評価方法	出席点+授業態度+3回のテスト
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(講義内容・評価基準などの説明)
2講目	重要構文講義演習1
3講目	重要構文講義演習2
4講目	重要構文講義演習3
5講目	重要構文講義演習4
6講目	復習テスト(1)
7講目	重要構文講義演習5
8講目	重要構文講義演習6
9講目	重要構文講義演習7
10講目	重要構文講義演習8
11講目	復習テスト(2)
12講目	重要構文講義演習9
13講目	重要構文講義演習10
14講目	学期末考査
15講目	学習のおさらい・まとめ

英語長文読解(応用)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	武田 利枝	1年生 First Year	水曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

英語を取り巻く状況、英語の歴史、音声学、スラング、和製英語、シェイクスピアなど「英語学」の話題を扱った英文エッセイを読むことで、英語の特徴についての知識を身につけ、理解を深めることができるようになる。また、英文全体の構造や論理展開の流れから内容を正確に読み取る力を養うことができるようになる。

その他

教科書	赤楚治之、William Herlofsky、清水克正. (2013). 『Twenty-Six Short Essays on English (英語についての26章)』. 英宝社. ISBN: 978-4-269-14018-9
参考文献	授業中に必要に応じて紹介する。
学習内容 授業形態	
留意点	興味のある話題については自分で調べて学習すること。
授業時間以外の学習	事前に次回の授業範囲に目を通して、不明の単語を調べ、英文の意味を考えておくこと。また、授業後はしっかりと復習して、学習した事項について理解の定着を図ること。
評価方法	達成度達成度確認テスト 50%、小テスト 30%、授業の取り組み 20%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	オリエンテーション(テキスト紹介,授業の進め方,授業の取り組み方,評価方法の説明など) Chapter 1 The Study of Language
2講目	Chapter 1 The Study of Language
3講目	Chapter 2 British English and American English
4講目	Chapter 3 English as a World Language
5講目	Chapter 4 Linguistics, Language, and Culture
6講目	Chapter 5 Registers
7講目	Chapter 6 Language, Culture, and Categorization
8講目	Chapter 7 First Language Acquisition
9講目	Chapter 8 The Study of the Sounds of Language
10講目	Chapter 9 Names in English
11講目	Chapter 10 Language Contact and Borrowing
12講目	Chapter 11 Language Variation
13講目	Chapter 12 Meaning in Words and Sentences
14講目	Chapter 13 Japanese English
15講目	達成度確認テストとその解説および今後の課題

映画で学ぶ中国語

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	江秀	1年生 First Year	金曜日 1時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

中国人の生活場面を映った生々しい言葉の学習です。字幕と生の中国語のシャワーを浴びて、その刺激や学習意欲が高まれば幸いです。春学期は10回のドラマと映画を上演し、3回のダイアローグの練習を予定です。映画の面白さ楽しさをみんなと共有します。期末に感想文を中心に評価します、必ず提出してください。

その他

教科書	授業時プリント配布、指定テキストなし。授業中順次の内容変更あり、ご了承ください。
参考文献	授業中に指示します。
学習内容 授業形態	中国の映画(日本語の字幕のあるもの)を10本以上に用意しましたが、受講生の中国語レベルによって内容を調整することもあります。 時には連続ドラマなどの内容を進めることがあります、ご了承ください。 中国語レベルによってセリフの練習可能であれば、練習します。 先生毎回上映していたドラマの経緯を説明します、場面に出てきた臨場感のある言葉を皆さんに紹介し、より沢山の言葉を知らず知らずのうちに覚えます。 期末に映画に関する感想文(中国語or日本語)で必ず提出しましょう。
留意点	焦らずに画面の中国語の理解をクリアすること。
授業時間以外の学習	映画のセリフをよく聞き、発音を真似て練習しましょう。
評価方法	提出物感想文と出席率及び学習態度などで総合で評価します。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	1本目:深夜食堂1
2講目	2本目:深夜食堂2
3講目	3本目:深夜食堂3
4講目	4本目:深夜食堂4
5講目	ダイアローグの練習
6講目	5本目:深夜食堂5
7講目	6本目:深夜食堂6
8講目	7本目:深夜食堂7
9講目	8本目:深夜食堂8
10講目	ダイアローグの練習
11講目	9本目:深夜食堂9
12講目	10本目:深夜食堂10
13講目	11本目:黄金甲 / 感想文A
14講目	12本目:千里走単騎 / 感想文B
15講目	ダイアローグの練習 ・ 感想文C

ビジネス中国語

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	谷力	指定なし	金曜日 4時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

実際の仕事に役立つ場面に基づいたテキストで、実践的な中国語を学ぶことを目標とします。受講生の希望に合わせて、実際のビジネスの場面とインバウンドの中国人に対する観光のおもてなしの場面の2つのケースに即した内容の授業を行います。今まで十数年、中国と関係の深い日系企業(オムロン、住友電工、三菱電機、ルイ・ヴィトン等大手企業)で中国語教えている経験を生かして、ビジネスなどに役に立つような中国語表現を習得できることを目標とします。

その他

教科書	プリントを配布します。
参考文献	プリント
学習内容 授業形態	講義を中心にすすめ、プリントに沿った文法を使って会話を練習します。
留意点	授業に積極的に参加してください。また、状況に応じてシラバスの予定を変更する場合があります
授業時間以外の学習	できれば毎回勉強した内容を復習してください。
評価方法	発表内容・授業へ参加態度などをもとに総合的に判断します
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	中国への赴任/案内
2講目	ホテルの宿泊手続き/切符の買い方
3講目	両替/観光スポットでの手伝い
4講目	復習1
5講目	レストランでの会話/道の案内
6講目	初めての出勤/観光案内1
7講目	ホテル周辺の状況/観光案内2
8講目	復習2
9講目	国際電話のかけ方/交通手段の説明
10講目	訪問/駅での会話
11講目	余暇/電車の乗車
12講目	復習3
13講目	パソコンを買う/買い物の案内
14講目	総復習
15講目	発表会(上記の学習を踏まえて、各自で発表を行います。)

Advanced Discussion

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	ハワード・ジョーンズ	全員 Both	月曜日 5時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>**THIS CLASS IS ONLY OPEN TO 2nd YEAR STUDENTS**</p> <p>The Advanced Discussion class is designed for 2nd Year students who wish to have further speaking opportunities and consolidate skills learned in regular lessons. Students will have the opportunity to discuss a wide-range of modern topics such as ‘ Fashion ’ , ‘ Social Media ’ and Music ’ . Topics will be presented on a ‘ 4 Step ’ basis:</p> <p>Step 1 (S1): will introduce the topic through easier questions (lower-intermediate). Step 2 (S2): will introduce the students to more difficult questions (intermediate level). Step 3 (S3): the student will see very difficult questions connected to the topic (advanced level). Step 4 (S4): this is called the ‘ Long Turn ’ . In the ‘ long turn ’ students will have the opportunity to talk about the topic for 1-2 minutes answering a series of guided questions. Preparation time is given for Step 4.</p> <p>**Possible topics and examples of S1-S3 questions are shown in the syllabus below**</p> <p>In this course, students will have the opportunity to practice and develop discussion-based skills such as:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Turn-taking: knowing when it is appropriate to take your turn in a conversation/discussion. 2) Agreeing/Disagreeing: learning functional phrases to agree/disagree with another speaker. 3) Utterances: learning phrases such ‘ ah ’ / ‘ um ’ / ‘ uh-huh ’ needed in a conversation/discussion. <p>Material for this course is based questions & topics that occur regularly on the IELTS Speaking Test.</p> <p>The order and duration of topics to be covered on the course will be decided by the overall needs of the group based on level, motivation to improve, and progress.</p>

その他

教科書	A textbook is not required for this course. All materials will be presented in class. Materials can also be distributed to students on Microsoft Teams.
参考文献	
学習内容 授業形態	
留意点	
授業時間以外の学習	
評価方法	Evaluation and grading will be decided by the instructor responsible for the course. Evaluation criteria will include: attendance, attitude, participation, motivation and evidence of self-study.
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	Course Introduction & Overview
2講目	FASHION (S1: How often do you go shopping for clothes?)
3講目	FASHION (S2: How do you decide which clothes to buy?)
4講目	SOCIAL MEDIA (S1: What ' s your favorite social media app? Why?)
5講目	SOCIAL MEDIA (S2: Have you ever edited a selfie?)
6講目	WASTE (S1: What are 5 things that can be recycled?)
7講目	WASTE (S2: Do you ever buy second-hand clothes?)
8講目	STUDY (S1: What did you enjoy most about school?)
9講目	STUDY (S2: What can you remember about your first English lessons?)
10講目	SHOPPING (S1: How often do you shop online?)
11講目	SHOPPING (S2: Do you prefer to go shopping by yourself or with other people?)
12講目	MOVIES (S1: What kind of movies don ' t you like?)
13講目	MOVIES (S3: Do you think CGI is beginning to destroy movies?)
14講目	SKILLS REVIEW
15講目	SEMESTER 1 REVIEW

経済経営学入門

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	角田(王)亜新	指定なし	月曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
学ぶことによって経済・経営学に関する専門的な知識と理解力を深める。

その他

教科書	なし プリント配布
参考文献	小峰隆夫・村田啓子『最新 日本経済入門』第5版 日本評論社 2625円
学習内容 授業形態	毎回のテーマを基本に講義する。 主要な論点について、論議する。
留意点	出席すること。
授業時間以外の学習	日本経済や世界経済のニュースに関心を持つ
評価方法	平常点:40%(出席、課題、学習態度)レポート:60%
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	講義内容、留意事項、授業への取り込みと成績評価方法に関する説明
2講目	経済の全体像と基礎知識 (1)「経済」とはなにか?
3講目	経済の全体像と基礎知識 (2) 経済を動かす三つの主体
4講目	経済の全体像と基礎知識 (3)マクロ経済とミクロ経済の違い
5講目	日本経済の姿と諸問題(1)フローとストック
6講目	日本の経済の姿と諸問題(2)成長と諸問題
7講目	戦後日本の経済成長(1)高度成長から低成長へ
8講目	戦後日本の経済成長(2)バブルの崩壊
9講目	戦後日本の経済成長 (3)構造改革と経済の再生
10講目	戦後日本の経済成長 (4)日本経済の課題
11講目	日本型企业システムの変化 (1)企業とはなにか
12講目	日本型企业システムの変化 (2)グローバル化、IT化と企業行動
13講目	日本型雇用慣行の変動と課題(1)日本の労働市場
14講目	日本型雇用慣行の変動と課題(2)今後の課題
15講目	まとめ 期末レポート

国際関係論 / 前期集中

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	王 天	指定なし	火曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
<ul style="list-style-type: none">・国際関係の歴史的変遷を理解できること・国際政治理論を使って国際問題を簡単に分析できること・日本外交の諸課題を把握できること

その他

教科書	佐渡友哲・信夫隆司・柑本英雄編『国際関係論』(弘文堂、2018年)
参考文献	中西寛・石田淳・田所昌幸著『国際政治学』(有斐閣、2017年)
学習内容 授業形態	前期の授業を三つの部分に分けて進めていきます ・国際関係史 ・国際政治理論 ・日本外交論
留意点	特になし
授業時間以外の学習	常日頃より国際ニュースに関心を持つことをお勧めします。
評価方法	平常点(30%)+レポート(70%)
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	イントロダクション:国際関係論/国際政治学(IR)とは何か
2講目	国際関係史 ウェストファリア体制からナポレオン戦争へ
3講目	国際関係史 ウィーン体制から帝国主義の時代へ
4講目	国際関係史 二つの世界大戦
5講目	国際関係史 国際連合の発足と冷戦
6講目	国際関係史 ポスト冷戦期
7講目	国際政治理論 リアリズム/現実主義
8講目	国際政治理論 リベラリズム/自由主義
9講目	国際政治理論 コンストラクティビズム/構成主義と英国学派
10講目	日本外交論 安全保障
11講目	日本外交論 日米関係
12講目	日本外交論 日中関係(1)
13講目	日本外交論 日中関係(2)
14講目	日本外交論 日露関係
15講目	総括とレポートの解説

読解力養成講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	澤田 俊太郎	全員 Both	水曜日 1時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
読み取った文章の内容を適切に第三者に「自分の言葉で」伝えられるようになること。

その他

教科書	課題プリントを配布
参考文献	授業の中で随時紹介
学習内容 授業形態	既定のカリキュラムで授業を進めるのではなく、受講者の求めるもの、持っている力などをヒアリングしながら、その年ごとの授業計画を組み立てていく。(例えば昨年度の授業では、就職活動のエントリーシート・ポートフォリオ作成にも活用できる志望理由書の作成を前期授業の到達課題とした。) 受動的に学ぶのではなく、自身がこの講座に求めるものを明確にして授業に臨んでもらいたい。
留意点	7/12・7/26・8/2の授業は兼職の都合から、曜日変更となる可能性がある(受講者との聞き合わせで振替日は決定する)。
授業時間以外の学習	授業内完結を目指す。各自が自主的に取り組んだ課題(過去問演習等)は個別に対応する。
評価方法	出席と課題提出を重視し、授業内課題の出来・不出来で合否判定することはない。
実務経験と 科目の関連	進学塾にて中学受験・高校受験・大学受験の国語・小論文の授業を担当。模試やテキスト等の各種教材を作成し、近年は動画講座を多く担当している。本講座では現代的テーマを扱った文章との向き合い方を軸に、読解の作法と記述答案作成法を指導する。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	論理力を鍛えるセッション
2講目	設問の本質をとらえるトレーニング
3講目	課題演習
4講目	課題演習
5講目	課題演習
6講目	課題演習
7講目	課題演習
8講目	課題演習
9講目	課題演習
10講目	課題演習
11講目	課題演習
12講目	課題演習
13講目	課題演習
14講目	課題演習
15講目	課題演習

小論文対策講座 (2E1/2E2)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	薄雲 鈴代	2年生 Second Year	火曜日 2時間目	講義	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
大学編入の受験生を対象にした入試対策講座です。半年後にひかえた大学入試小論文の実践問題に取り組みます。京都外国語大学の入試問題をベースに読解力を鍛え、完璧に要約ができるようになることを目指します。夏休み前には、個々の志望大学の過去問に取り組んで、頻出問題に対応できるように鍛えます。 これまで小論文を書いたことのない人、また文章を書くことがニガテな人も、毎時間積み重ねていけば、必ず入試までに書けるようになります。

その他

教科書	志望大学別過去問 適宜プリント配布
参考文献	授業内で随時紹介
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)演習形式。 毎時間、かならず文章を書いて提出してもらいます。
留意点	出席重視(大学入試に向けて、かならず書けるようにメニューを組んでいるので、1週でも抜けると不利になる)
授業時間以外の学習	授業時間内に書けなかった小論文は翌週までに提出すること。
評価方法	出席点、毎時間の課題提出が評価の基準になる。遅れてでも必ず提出すること。期末のテストなし。
実務経験と 科目の関連	大学受験予備校で現代文の読解と小論文対策に従事。また高校の国語講師を務め、入試対策講座を受け持つ。赤ペン添削の実務経験あり。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	入試までの準備について。現段階の実力を確認。
2講目	ニガテ意識をあぶり出す。弱点強化の方法を学ぶ。
3講目	大学入試過去問 ー課題文をどう読み込むか
4講目	前回の採点、弱点診断と克服の方法 要約特訓
5講目	大学入試過去問 ー要約の方法
6講目	小論文の型を学ぶー総括法・起承転結法 要約特訓
7講目	大学入試過去問 ー要約から小論文へ移行する方法
8講目	前回の採点、弱点診断と克服の方法 要約特訓
9講目	中間 実力診断 要約はできているか? 問題に対して答えられているか?
10講目	個人別 志望大学過去問 傾向と対策
11講目	個人別 志望大学過去問 傾向と対策
12講目	個人別 志望大学過去問 傾向と対策
13講目	入試に出題される時事問題 知識をつける
14講目	入試に出題される時事問題 知識をつける
15講目	個人別 志望大学実践問題を解く 入試前、夏休みの対策

小論文対策講座 (2E3/2E4)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	鈴木 賢一郎	2年生 Second Year	金曜日 2時間目	講義	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
「高得点を取れる小論文」を書くための技法を学び、毎時間課題に取り組む。 基本的に、時間内での添削を行ない、その日のうちに自分の書いた作品のどこが悪かったのか、良かったのかの確認をしてもらいます。 シラバスに一応15回分の授業計画は載せていますが、その都度、習熟度に合わせてフレキシブルに内容を変化させて進めていきます。

その他

教科書	すべて講師側で用意し、コピーして配布しますので購入の必要はありません。
参考文献	すべて講師側で用意し、コピーして配布しますので購入の必要はありません。
学習内容 授業形態	「高得点を取れる小論文」を書くための技法を学び、毎時間課題に取り組む。 基本的に、時間内での添削を行ない、その日のうちに自分の書いた作品のどこが悪かったのか、良かったのかの確認をしてもらう。 シラバスに一応15回分の授業計画は載せているが、その都度、習熟度に合わせてフレキシブルに内容を変化させて進めていきます。
留意点	どうせやるなら一生懸命。
授業時間以外の学習	習熟度により検討
評価方法	出席とテスト
実務経験と 科目の関連	高校、専門学校にて、国語・小論文の授業を24年間担当しています。 入試問題の作成もしておりますので、出題者の求める文章の書き方をお伝えしていきます。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	文章の基本となる型(頭括型、尾括型、両括型)について
2講目	文章の展開の仕方について(効果的な接続語の使い方)
3講目	300字課題に取り組む
4講目	200字課題に取り組む
5講目	「要約」が出来るようになるテクニックを身に着ける
6講目	大学入試過去問題に取り組む(200字)
7講目	大学入試過去問題に取り組む(300字)
8講目	時事問題を学ぶ
9講目	時事問題を学び、小論文として発表。 実際に添削してみる
10講目	時事問題を学び、小論文として発表。 実際に添削してみる
11講目	時事問題を学び、小論文として発表。 実際に添削してみる
12講目	大学入試過去問題にとりくむ 点数化
13講目	大学入試過去問題にとりくむ 点数化
14講目	大学入試過去問題にとりくむ 点数化
15講目	修了テスト

面接対策講座 (英米)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	宋 展榮	1年生 First Year	木曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

1. しっかりとした自己分析から企業の心を掴むようなエントリーシートの完成をめざす。
2. エントリーシートにリンクした自身の強みを把握しそこから多様な質問に応えられる力をつける。
3. 自身の強みを適切に言語化し表現できるプレゼンテーション能力を身につける。(立ち居振る舞い、表情、言葉遣いなどの演習)

その他

教科書	なし
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)講義形式。実際の企業面接試験の形式での演習をしながら多様な質問にも応えられる語彙力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身につける。面接官の前でもあがらず自分の思いや考えを正しい言葉で表情豊かに発言できるようになるために、面接試験出題頻度の高い質問を中心に面接練習を重ねる。
留意点	自己分析を丁寧にし自分を理解することが企業への自己PRの基本であることを認識すること
授業時間以外の学習	課題プリント
評価方法	平常点(授業に向き合う姿勢+出席率)80% 課題プリント20%
実務経験と 科目の関連	航空会社客室乗務員の職歴と企業の社員研修講師の経験から企業が求めている社会人像を見極め、それぞれの就職活動に活かせるようにフィードバックする。また時勢にあった社会人としてのビジネスマナー、言葉遣い、メディア(SNS)リテラシーを認識習得してもらい就職活動の成功に繋げてもらう。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	2023年の就職活動の流れを知る。2022年、2023年の就職活動の傾向と対策について。
2講目	模擬面接 (入室 挨拶 自己PR 挨拶 退室 一連の流れを知る)
3講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
4講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
5講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
6講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
7講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
8講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
9講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
10講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
11講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
12講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
13講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
14講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接)
15講目	模擬面接テスト/ 各学生へフィードバック

面接対策講座 (英米以外)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	河本 茜	指定なし	木曜日 1時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標
<p>*****航空会社の客室乗務員の職歴や顧客サービス事業を展開する企業の社員教育講師の経験を持つ講師から自分自身の気づきを促し、自分を活かしつつ貢献できる企業に就職するため、社会人に求められるマナーを身につけ表現技術を磨く。就職試験に自信を持って臨めるように。面接練習(自己分析を深め、志望動機を考える)また、企業に入社後に必要なビジネスマナーを身につける。 *****</p>

その他

教科書	
参考文献	
学習内容 授業形態	講義・演習・実技,,
留意点	過去を振り返り、現在の自分を知って、相手(業界・職種)を知る。
授業時間以外の学習	
評価方法	平常点(授業に向き合う姿勢)、項目ごとの小テスト
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	模擬面接 身だしなみチェック、自己PR、志望動機チェック
2講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
3講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
4講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
5講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
6講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
7講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
8講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
9講目	模擬面接 (個人面接・グループ面接・グループディスカッション・グループワーク)
10講目	模擬面接 (ビジネスマナー・きちんと伝わる話し方)
11講目	模擬面接 (感じのよい話し方のコツ・ビジネスでの言葉遣い)
12講目	模擬面接 (正しく遣いたい敬語表現)
13講目	模擬面接 (スムーズな電話対応)
14講目	模擬面接 (接客マナー)
15講目	テスト/ 解説

中国語検定対策講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	劉 曉晴	指定なし	水曜日 5時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標
前期は検定試験模擬問題集のプリントを中心に授業を進める。新SHK4級や実用中検等の国内検定試験を4級以上を目指して勉強してもらう。

その他

教科書	プリント
参考文献	『実用中国語技能検定試験問題集』(実用中国語技能検定試験実施委員会編著・KJA出版)新漢語水平考試HSK模擬問題集(4級), 『新漢語水平考試HSK模擬問題集HSK(5級)』?云主編,北京大学出版社
学習内容 授業形態	演習
留意点	勉強したものをしっかり理解し、覚えた上で、ほかの類似する問題に応用していく。
授業時間以外の学習	授業だけの勉強ではもの足りないので、在宅でも予習、復習などの勉強が必要
評価方法	出席状況・授業参加態度・テスト・HSK等の検定試験の成績を総合して判断する。
実務経験と 科目の関連	

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	聞くトレーニング(1)
2講目	聞くトレーニング(1)
3講目	文法(1)
4講目	文法(1)
5講目	聞くトレーニング(2)
6講目	聞くトレーニング(2)
7講目	文法(2)
8講目	文法(2)
9講目	読解練習
10講目	読解練習
11講目	応用練習
12講目	応用練習
13講目	応用練習
14講目	応用練習
15講目	確認テストとその解説及び今後の課題

秘書検定対策講座

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	宋 展榮	1年生 First Year	水曜日 1時間目	指定なし	通年 春学期

講座到達目標

到達目標

社会人の基礎資格としての一般常識、ビジネスマナーなど仕事における様々な能力を問う秘書検定試験において2級合格を目指す。また2級合格を目指す勉強を通して社会人に求められるビジネスマナー、敬語、常識、一般知識の習得をする。

その他

教科書	秘書検定2級に面白いほど受かる本 KADOKAWA
参考文献	
学習内容 授業形態	(春学期30時間・秋学期30時間)講義形式。 1.秘書(職業人)としての自覚と心得 2.仕事を処理する際の基本的心得 3.秘書としての職務知識 4.社会人としての一般知識 5.敬語(上司、顧客との関係・話し方・聞き方) 6.技能(社外文書・車内文書・資料管理・オフィス管理・会議・文書マナー)
留意点	検定の範囲はかなり広範囲であるため課題の履行、予習、復習を欠かさないこと
授業時間以外の学習	課題の履行、予習、復習を欠かさないこと
評価方法	期末試験 50% 平常点(授業への取り組み態度)30% 課題プリント・小テスト 20%
実務経験と 科目の関連	メディカルセクレタリーとしての経験を活かし、社会人に求められるビジネスマナー、常識、様々な状況における判断力と行動力の重要性を理解し身につけてもらう。

各講座内容については次頁に表記

各講座内容

1講目	秘書検定を学ぶ目的。科目内容と到達目的の確認、評価方法、検定の概要について
2講目	秘書の資質(秘書に必要な条件・求められる能力) 過去問から
3講目	秘書の資質(秘書に必要な条件・求められる能力) 過去問から
4講目	職務知識(秘書の役割と技能、秘書の職務知識)・一般知識(企業と経営・企業の活動・社会常識)
5講目	職務知識(秘書の役割と技能、秘書の職務知識)・一般知識(企業と経営・企業の活動・社会常識)
6講目	交際のマナー(慶弔・贈答のマナー)
7講目	交際のマナー(慶弔・贈答のマナー)
8講目	マナー・接遇(人間関係と話し方・聞き方・敬語)
9講目	マナー・接遇(人間関係と話し方・聞き方・敬語)
10講目	社内文書
11講目	社内文書
12講目	技能(会議・文書作成・文書マナー・資料管理・ファイリング・オフィス管理)
13講目	技能(会議・文書作成・文書マナー・資料管理・ファイリング・オフィス管理)
14講目	期末テスト
15講目	期末テスト返却と解説

コンピュータリテラシ (検定対策)

年度	学科・科目群	講師名	学年	曜日・時間	授業形態	学期
2023年度	一般 一般教養科目群	山上 礼子	全員 Both	木曜日 5時間目	指定なし	半期 春学期

講座到達目標

到達目標

以下を目標として実技&筆記対策を行います。
日本商工会議所主催「PC(文書作成)検定試験」Basic & 3級 & 2級、「PC(資料作成)検定試験」3級 & 2級

その他

教科書	「日商PC検定試験3級知識科目対策問題集」(FOM出版)
参考文献	練習量が指定分だけでは足りない方は、授業中にお知らせください。購入したほうが良い教材をお知らせします。
学習内容 授業形態	検定試験受験に向けたパソコン操作による実技科目および知識科目対策を実施します。
留意点	演習の授業のため、遅刻は10分までとなります。十分注意してください。多量のデータを使用しますがデータ保管は自分自身で管理してください。進行速度により、内容は前後する場合があります。練習したデータはすべて提出していただきますので、指定された期日までに提出してください。
授業時間以外の学習	授業の内容を理解できるまで必ず復習してください。授業内だけの検定練習では、受験に対して練習時間が足りないため、各自指定された練習問題を時間外にこなすしてください。購入していただく問題集は、指定された箇所を授業外にやっていただきます。指定日に学校に持ってきていただきます。
評価方法	指定された課題の提出、受験の有無、合否の結果、授業内容への取組、講座テストを総合で評価します。
実務経験と 科目の関連	各種検定委員を約30年しており、問題集などを作成してきておりますので学校で受験できる検定試験の内容に合わせたオリジナルのデータを使用して無駄な練習をすることなく、必要な操作をしっかりと覚えることができます。 大学生や社会人向けの検定受験専門の講座も多数こなしてきておりますので、理解できない操作や問題の内容(出題方法)などは個別に対応できます。 なお、本校で受験できない検定試験や認定試験についても質問にはお答えできます。

各講座内容については次頁に表記